資料4-1

1. 管路施設の目標設定

○戦略的目標
（目指すべき方向：リスク、健全性　等）

2. 管路施設管理計画の策定（Plan）

2.1 基礎データの整理

○投資計画の検討に必要なデータ
○点検調査計画の検討に必要なデータ
○健全率予測式の検討に必要なデータ

2.2 健全率予測式の検討

○健全率予測式の設定（マクロ的な劣化予測）

2.3 投資計画の検討

○改築等に必要な投資のシナリオの設定・検討
○シナリオの評価（コストとリスクのバランス）
○最適シナリオの選定（目標達成の可否の確認、実現性の確認）

目標達成不可

実現可、目標達成可

2.4 管理目標の設定

○管理目標（必要改築量、必要改築費用等）の設定

2.5 点検調査計画の検討

○点検調査優先順位の考え方（リスク評価）
・構造的不具合による事故の大きさ
・構造的不具合の起こりやすさ
○点検調査方法、頻度

2.6 管路施設管理計画のとりまとめ・活用

○管路施設管理計画のとりまとめ（投資計画＋点検調査計画）
○管路施設管理計画の活用（住民等への情報提供、議会等への説明）

3. 管路施設管理計画に基づく事業の実施（Do）

改築箇所を対策するための点検調査の実施

下水道長寿命化計画（管路）の策定と事業の実施

日常の維持管理情報の集積と活用

4. 管路施設管理計画の評価（Check）と見直し（Action）

○健全率、対策実施率、状態把握率等の管理目標との乖離チェック
○定期的な見直しによる精度向上